

GitHub × AIで加速するぐるなびの進化 ～次世代のグルメ体験を目指して～

株式会社ぐるなび

開発部門 | 開発部 | Native App/Search Group

TechLead 小向有



Ari Komukai / 小向 有

株式会社ぐるなび

開発部門 | 開発部 | Native App/Search Group

TechLead

TechLeadとして、事業戦略の実現に向けた開発体制の構築、アーキテクチャ設計、サーバサイドおよびネイティブアプリ開発、SLO・SLIの策定まで幅広く担当。現在は、生成AIを活用したプロダクト開発の推進やエンジニア育成にも注力し、組織全体の技術力向上を推進している。



会社概要

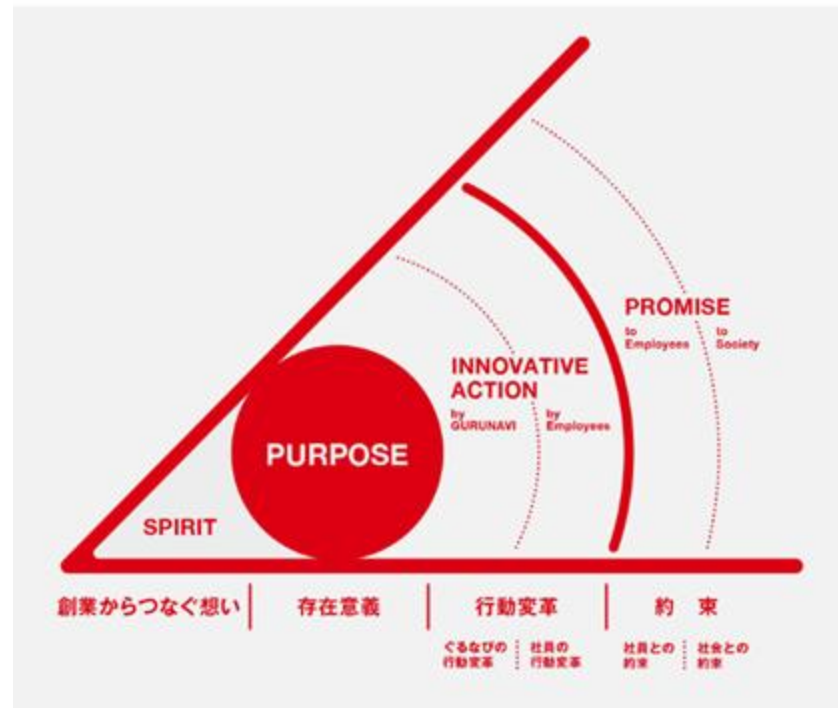
創業からつなぐ想い SPIRIT

日本の食文化を守り育てる

存在意義 PURPOSE

食でつなぐ。人を満たす。

私たちぐるなびは食の可能性を信じ、
世界中のヒト・モノ・コトをつなげ、
人々が満たされる場を創出します。



飲食店情報サイト「楽天ぐるなび」



開設日

1996 年 6 月

会員数

2,745 万人

総掲載店舗数

約 42 万店

総有料加盟店舗数

42,172 店
(2024年12月時点)



ぐるなび

ぐるなび データライブラリ

ぐるなび マーケティングソリューション

ぐるなび アグリサービス



生産者・卸業者

販路拡大支援

Rakuten ぐるなび



飲食店

経営支援
(販促・業務支援)

食関連メーカー

商品開発・
販促支援



省庁・自治体

地域活性化支援

Rakuten ぐるなび



国内外の消費者
豊かな食体験の実現

2,745万人の
会員ユーザー
(2024年12月時点)



商業施設
飲食フロア
プロデュース

GURUNAVI
FOOD HALL
WYE!

ぐるなび FineOrder

ぐるなび PRO

ぐるなび 台帳

ぐるなび 大学

YENPOs
ぐるなび

LIVE JAPAN
PERFECT GUIDE

アジェンダ

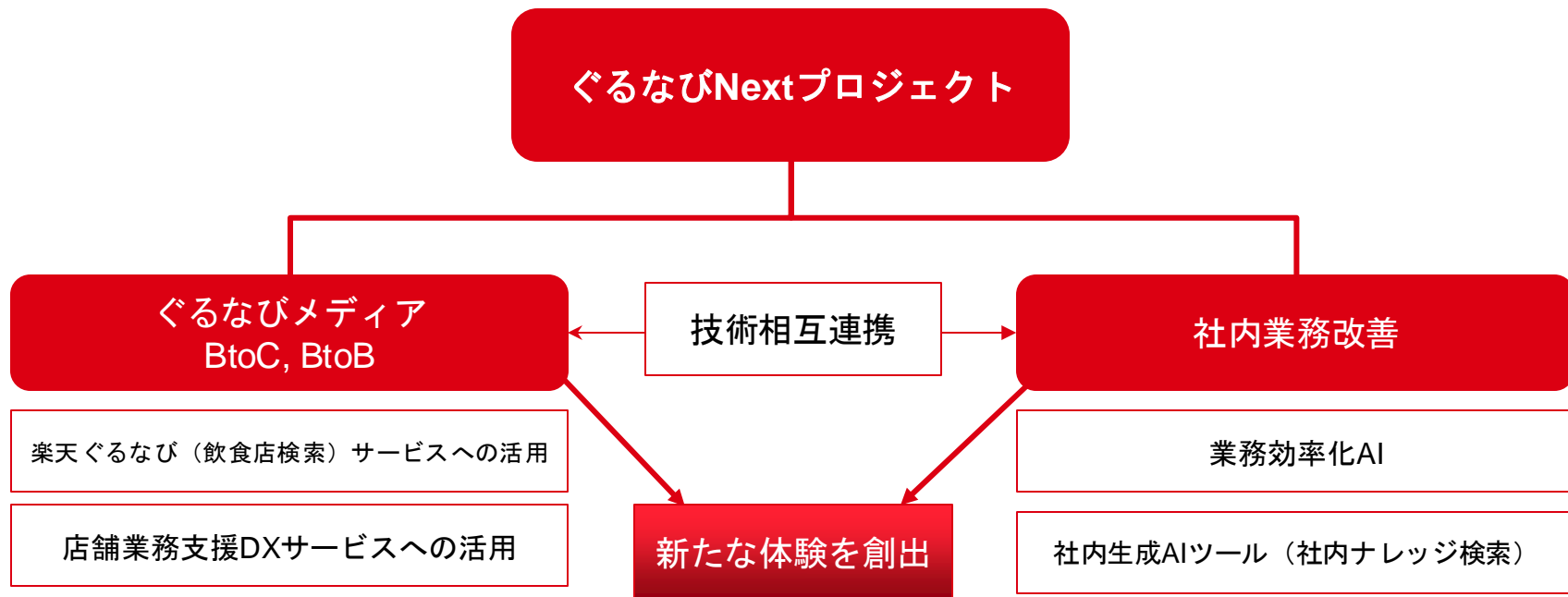


- 生成AIを活用した**プロダクト**の紹介
- **AIドリブン**な**プロダクト開発**の実例紹介

ぐるなびの進化 x UMAME!の誕生

ぐるなびの進化に向けた取り組み

ぐるなびNextプロジェクトは生成AIを用いてぐるなび全体の
技術革新・DXを実現するプロジェクトの総称



2025年1月20日（月）よりβ版をリリース



UMAME!

AIと新しいお店探し

楽天ポイント貯まる・グルメ検索・予約



App Store
からダウンロード



ぐるなびの存在意義（PURPOSE）

「食でつなぐ。人を満たす。」

生成AIで実現する未知なる食体験を通じて人々をつなぎ
食の未来を創造することで、ぐるなびの存在意義を体現

ネーミングに込めたメッセージ

「うまい」を「私に」

思わず「うまい！」と言ってしまうような、まだ出会えていない未知の食体験を提供

生成AI技術を使ってパーソナライズした「まだ出会えていない食事」を提供
新たな発見を促し、未知の体験へと導く新感覚の飲食店検索アプリ

アイコンに込められたメッセージ

「未知との遭遇」



「UMAME!（うまみー！）」

UMAME!の機能

セマンティック検索による飲食店検索



飲食店の詳細



飲食店の予約



UMAME!の機能

セマンティック検索による飲食店検索



飲食店の詳細



飲食店の予約



UMAME!の機能

セマンティック検索による飲食店検索



飲食店の詳細

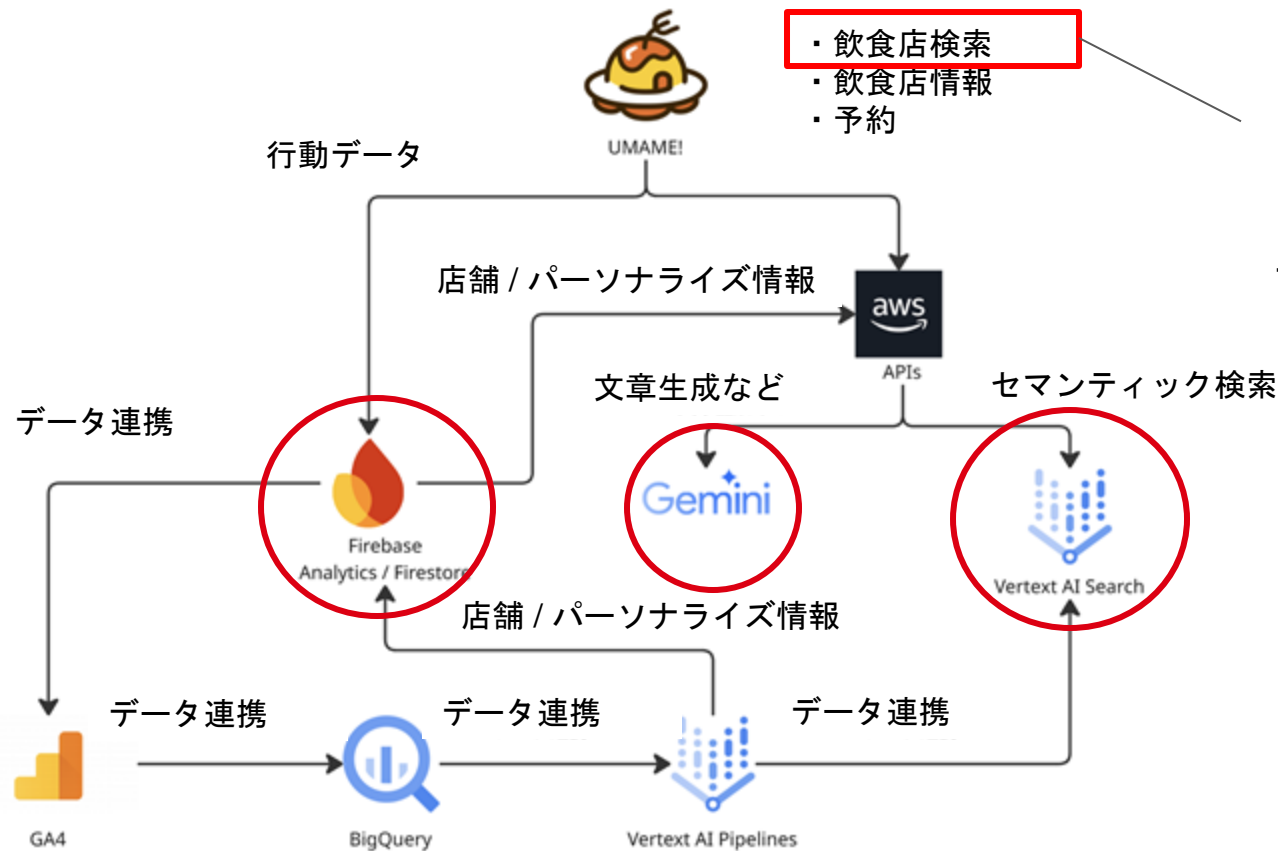


飲食店の予約



アーキテクチャ

アーキテクチャ



開発期間

開発期間

- ・ 予算 & 採用 & 体制構築
- ・ 企画立案
- ・ ロゴ
- ・ サービス名
- ・ 法務/セキュリティ
- ・ 機能設計
- ・ UI設計
- ・ システムアーキテクチャ設計
- ・ 生成AI関連 技術調査/技術選定

- ・ ネイティブアプリ設計/実装
- ・ API設計/実装
- ・ バッチ設計/実装
- ・ データ/RAG/LLM構築
- ・ 環境構築
- ・ 機能試験/非機能試験
- ・ ストア審査
- etc.

2024/08

開発着手

6ヶ月

2025/01

リリース

短期間のプロダクト開発を 可能にしたポイント

AIドリブンなプロダクト開発を推進



社内版ChatGPT

- 技術Q&A
- APIのI/F設計
- コーディング
- テストコード
- コードレビュー
- ドキュメント
- エラー解析
- etc.

- なんでもQ&A
- ブレスト & 整理
- 議事録整理
- 資料作成
- AppStoreのリジェクト対応
- 採用やメンバー評価
- etc.

他社 ホワイトボードツール

- ブレスト & 整理
- アーキテクチャ設計
- コンポーネント設計
- UIワイヤー
- スケジューリング
- etc.

生成AIツールの活用

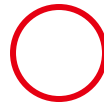
企画/要件定義

設計

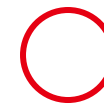
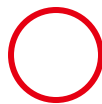
製造

テスト

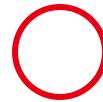
リリース/運用



社内版
ChatGPT



他社
ホワイトボ
ードツール



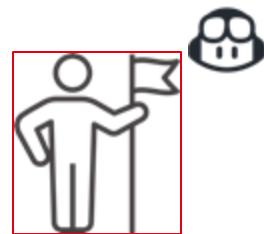
AIドリブンなプロダクト開発の ナレッジシェアを推進

AIドリブンなプロダクト開発のナレッジシェアを推進：先駆者

プロダクトチームA



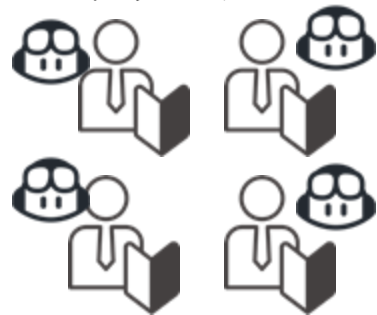
プロダクトチームB



モダンなアプリケーション開発を推進する横断組織

AIドリブンなプロダクト開発のナレッジシェアを推進：先駆者

プロダクトチームA

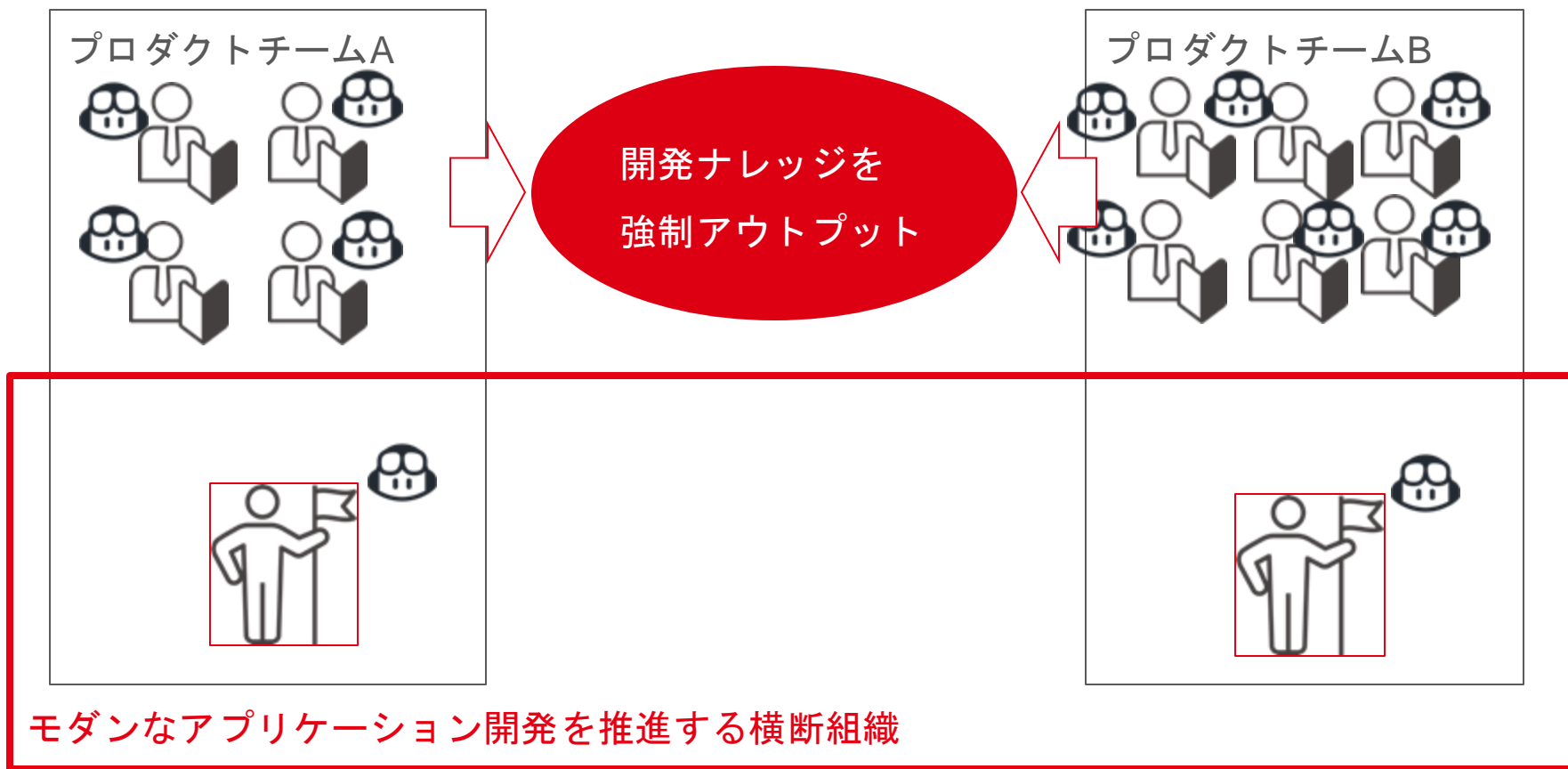


プロダクトチームB



モダンなアプリケーション開発を推進する横断組織

AIドリブンなプロダクト開発のナレッジシェアを推進：先駆者



AIドリブンなプロダクト開発後の 変化

AIドリブンなプロダクト開発で起こった 「エンジニア」の変化

マインドセットの変化



新しい領域への
挑戦

マインドセットの変化



新しい領域への
挑戦



モチベーション
向上

マインドセットの変化



新しい領域への
挑戦



モチベーション
向上



AIドリブンな開発へ
マインドシフト

マインドセットの変化



新しい領域への
挑戦



モチベーション
向上



AIドリブンな開発へ
マインドシフト

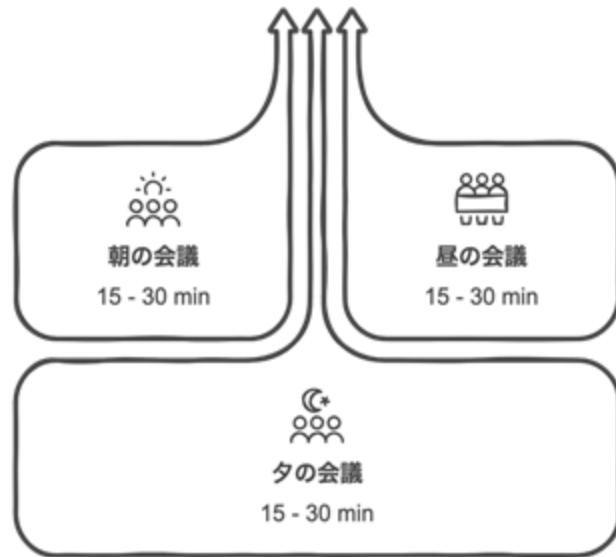


AIドリブンな開発手法を
必須スキルと認知

AIドリブンなプロダクト開発で起こった 「コミュニケーション」の変化

コミュニケーション頻度向上

共有 & 相談 & 意思決定



- プロダクトビジョン
- 進捗
- 機能仕様
- UI/UX
- 技術方針
- 生成AIトレンド
- UIトレンド
- 技術トレンド
- etc.

製造の時間 ↓

コミュニケーション頻度 ↑

意思決定速度 ↑

AIドリブンなプロダクト開発で 見えてきた課題



Development



Business
Marketing
UI/UX Design

まとめ

まとめ

プロダクト開発への向き合い方

- 製造：GitHub Copilotをフル活用
- 製造以外：AIドリブンで効率化・最適化

エンジニアのマインドセット変化

- 新しい領域への挑戦への意欲向上
- モチベーションの向上と自己成長
- AIドリブンな開発へのマインドシフト
- AIドリブンな開発スキルの必須化認識

ビジネス・マーケティング・UI/UXサイドの変革

- エンジニアリング以外の領域でもAI活用の浸透が必要

AIドリブンな開発体験の浸透とナレッジシェア

- ナレッジシェアを通じて組織全体の知見向上
- AIドリブンな開発手法の標準化・最適化

開発速度向上への貢献

- AIの活用でコミュニケーションの時間増加
- 意思決定速度が向上
- プロダクト開発のスピード加速



Thank you !!
Gurunavi, Inc.

